

2021(令和3)年度 全国支部長会議を開催

副理事長・事業委員長 木村 光 (41C)

会議の開催

全国支部長会議は、平成24年度に初開催し、前回5回目を平成30年10月20日、21日の2日間にわたり開催された以降3年振りに、2022年2月12日にオンラインで行われました。

参加者は32支部34名(オブザーバーを含む)、9連合支部10名(3支部と重複、オブザーバーを含む)及び本部役員、事業委員会委員で総計54名でした。

今回は、コロナ禍の状況により初のオンライン方式での開催となりましたが、短期間での事前調査対応にも拘わらず、各連合支部及び支部長各位のご協力をいただき、意見等の回収、纏めがスムーズに行われ、会議は意見等のまとめの報告及び発表並びに意見交換の時間が十分に確保でき、順調に開催できました。

学生会員からの意見

まず、学生サークルCo-Nextの学生3名から、OBOGとの交流を軸にした起業アイデアの紹介と協力依頼がありました。

各支部からの報告等

続いて、前回会議における各支部からの意見等に対する回答を行いました。引き続き今回会議の事前調査の集計の報告を行い、それに対する今後の対応等を議論しました。

連合支部の活動状況の事例発表は、東海連合支部から行われ、支部の活動状況の事例発表は厚木支部から行われました。これらの発表に対し、活発な質問や意見交換が行われました。

議論、報告

本会運営の活性化に向けての課題や本部に対する要望では、従来と同様に会員情報の整備に関するものが多く、名簿の精度アップ、新社会人会員、住所移動・転勤者等の情報提供方法等が出され、支部の運営に関するものでは活動会員の固定化、若手の参画、会の広報活動等が問題提起されました。それらの総合的な質疑応答、意見交換等が行われ、活発な議論が展開されました。

会議で意見が多かった会員情報等の整備について、検討委員会等の設置を検討すべきとの意見もあり、今後正副理事長会議の検討事項といたします。

また、ホームページのリニューアル、各連合支部・支部での会議に使えるオンライン用の機材の整備、本部や大学の情報の速やかなリリースなどご要望のあった項目についても、本部で検討を加えて行きたいと考えます。

まとめ

初めてのオンラインでの会議開催でありましたが、スムーズな会議の進行で、今後もこのような形態での開催を摸索すべきではないかなどの意見も聞かれました。

いただいた開催形態等のご意見を参考にし、今後の会議開催に生かしていければと思量いたします。総じて一定の成果が得られたのではと考えております。

また、支部長の皆様にはご多用の折に、限られた事前準備の時間にも拘わらず会議に出席いただき、感謝申し上げますとともに、引き続き本会の運営にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。